

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.143号> 2023年 2月1日 発行

ごあいさつ

日を追う毎に輝きを増す 光の春に誘われ、日向を選び歩く道端にはタンポポが。ギリシャ語を起源とする“苦痛を癒す”という意味に基き 名付けられたとのこと。

ならず者国家の悪行が世界を分断させ 人類本来の協力や連帯意識を 荒廃へと向ける今こそ、苦痛を希望に変える春を祈ります。

去る23日召集された 第211回通常国会の施政方針演説では、子ども子育て政策と少子化対策の最重要視、そして防衛費増額に伴う財源確保を未来に先送りしないと明言されましたが、国会での質疑・論戦も不十分なまま、民意をいかに反映させ解決に導くのか、更にエネルギー問題についても原発の延命化や次世代革新炉等といった政策転換の意義周知を図ると共に、再生可能エネルギー開発・実行に向けた迅速化が必須です。

さて 40年ぶりという歴史的物価高の中で 2023年春闘が始まりました。負のイメージと捉えるのではなく 世界でも稀有のデフレマインドを抜け出すチャンスとして、ヘア獲得に向け一丸となって取り組みましょう。

当月16日 刈谷市議会も新年度当初予算案を中心に 定例会を開会、喫緊課題に全力で取り組んで参ります。

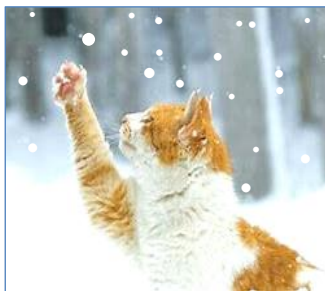


刈谷市議会議員



【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com



歳時記

2月 3日 (金) 節分	ロシアのウクライナ侵攻から1年を迎え
4日 (土) 立春	多くの犠牲者が出ていることに、胸が痛み
11日 (土・祝) 建国記念の日	ます。誰も望まぬ戦争を続ける独裁者達の
14日 (火) バレンタインデー	失脚とウクライナの春が、一刻も早く訪れ
19日 (日) 雨水	ることを心から願う日々です。春を告げる
23日 (木・祝) 天皇誕生日	雪割草の花言葉・信頼が世界に満ちます様。

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



線路下を流れる河川の岸辺に 冬枯れの土手で厳寒の風と対峙するひと株の水仙。凛と立つ女王のような気高さが早春の光を集めます。さて、ここはどこでしょう？



1/1発行の<No.142>の答えは、一里山町から豊田市中田町までの区間、道路新設及び現道拡幅整備を終え、一般県道宮上知立線バイパスが開通。昨年12月祝いの式典が挙行されました。

“成人式”への招待☆ 後編

16世紀末頃、シェイクスピアによる戯曲・ロミオとジュリエットではもう直ぐ14歳になる娘ジュリエットに結婚を勧める母親が、私はあなたの年には出産していたと諭すシーンが有り、また日本でも 江戸時代には 13歳から結婚できました。

歴史に名を留めるシーザーや家康等、長寿が叶うのは 富を集め、当時の高度医療を受けられる限られた人々。多くは乳幼児期を生き延びることさえ試練でした。成長期を越えても、貧困による栄養失調・戦・飢饉・疫病蔓延等で 生存が脅かされる時代、人生は短く凝縮されていたのでしょ。江戸時代、20歳を越すと年増25歳を越せば大年増、30歳以上は姥桜と呼ばれたよう。ちなみに 姥桜の本来の意味は歳を重ねても色香があり、若々しく美しさを保つ女性を指す誉め言葉です。

世界の平均寿命について、WHOのデータはここ110年で 大きな変化を遂げたことを物語っています。それは人類が初めて経験する高齢社会でもあり、言い換えれば文明が成功した証しとも言えましょう。平和で穏やかな環境の中で 子どもを産み育て、きれいな水を飲み、快適な住環境の下、安心して暮らせる世界です。成人を祝う集いは、先人達の血と汗と努力の結果を労う ご褒美かも知れません。

2月の行事予定

2月 2日 (木)	刈谷市議会研修会
6日 (月)	永井県議グループ定例会
7日 (火)	衣浦定住自立圏域共生ビジョン講演会
9日 (木)	3月議会説明会
16日 (木)	3月議会 本会議

“まじめにコツコツ、
即行動”
頑張ります!!



2月のフットワーク

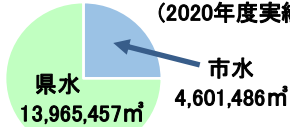
『刈谷市水道事業ビジョン』の概要を紹介します。

「刈谷市水道事業ビジョン」は、刈谷市民がこれからも「安心」で「安全」な水道水を「安定」して使い続けられることを目的に策定。

【計画期間】 2022年度～2031年度（10年間）

■ 水道水の水源と配水区

市水と県水の割合
(2020年度実績)



刈谷市水道施設位置図

市水	① 富士松配水区
	② 一ツ木配水区
県水	③ 横根配水区
	④ 南部配水区



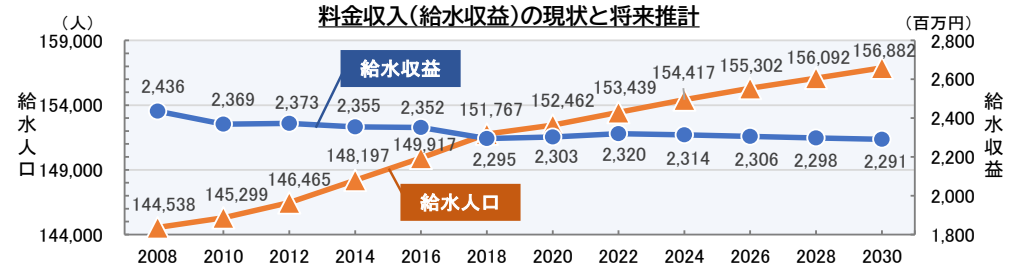
■ 施策の体系

基本理念：安心で安全なおいしい水を いつでも、いつまでも ～次世代へつなぐ刈谷の水道～

	基本目標	主要施策	施策の展開
安全	安心で安全なおいしい水の供給	自己水(市水)の有効活用 水質の安全性への対応 適切な水質管理	<ul style="list-style-type: none"> 取水施設の計画的な点検・清掃・修繕・更新 水質変化に対応可能な浄水処理方式の検討 「水安全計画」による水質管理の実施
		水道施設および管路の経年化対策	<ul style="list-style-type: none"> 施設：管路の適切な点検、維持管理の実施 施設：管路の運用期間の設定、計画的な更新
強靱	災害に強く安定的に供給できる水道	水道施設および管路の耐震化や浸水対策	<ul style="list-style-type: none"> 既設配水池の耐震補強 4基 (一ツ木 2、南部、横根) 水源浄水場の施設更新 重要給水施設管路の耐震化
		災害時における水道水の確保	<ul style="list-style-type: none"> 適正な配水池容量の確保 新設配水池築造 2基 (一ツ木、南部)
持続	次世代へつなぐ事業運営	経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業経営戦略の策定・公表
		運営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 民間業者への業務委託の継続・拡充 省エネルギー対策や施設規模の適正化 料金収入等の収益の増加や経費の削減 適正な人員人材の確保、技術力の継承
		事業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業広域連携に関する調査・研究 官民連携による経営効率化の調査・研究
		利用者への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> HPやイベント等での水道事業PRの拡充

『刈谷市水道事業経営戦略』の概要を紹介します。

刈谷市水道事業経営戦略は、水道事業ビジョンの基本目標と施策達成に向けた経営の基本計画であり、50年先の水道経営を見据えつつ、今後も健全な財政運営を持続させていくことを目的に策定。 【計画期間】 2022年度～2031年度（10年間）



■ 投資目標(基幹施設等の耐震化及び老朽管路の更新)

重要施設等	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	概算費用 約149億円	
重要給水施設管路	[更新計画]										約24億円	
配水池	一ツ木配水池	[新設]		[既設耐震化]								約9億円
	南部配水池	[新設]		[既設耐震化]								約18億円
	横根配水池	[既設耐震化]										約2億円
水源浄水場	[全面更新]										約96億円	
老朽管路の更新	[更新計画]										R13以降、管路更新率1.66% ⁺	

■ 財政目標(健全経営に向けた資金確保)

- 資金残高10億円以上の確保(災害等に備えるため、年間給水収益の半年分を確保)
- 企業債の活用(世代間負担の公平性を確保できる水準で新規企業債を発行)
- 繰入金金の調整(耐震化事業等の対象経費について一般会計と調整)

■ 今後の収支見通し

2031年度)以降に当期純損失(赤字)に転じる見通し、また、今後の資金需要の増大により、2039年度に、資金残高がマイナス(資金ショート)となる見通し。



■ 経営のあり方の検討

資金ショートを防ぎ、さらなる経営改善を図るため外部有識者等で構成する審議会を設置し、経営のあり方について検討を開始する予定。